

ープロジェクトによる研究《平成22・23年度》ー

授業力を高める校内研修の進め方

ー みんなで取り組み、学び合う授業研究を通して ー

研究のねらい

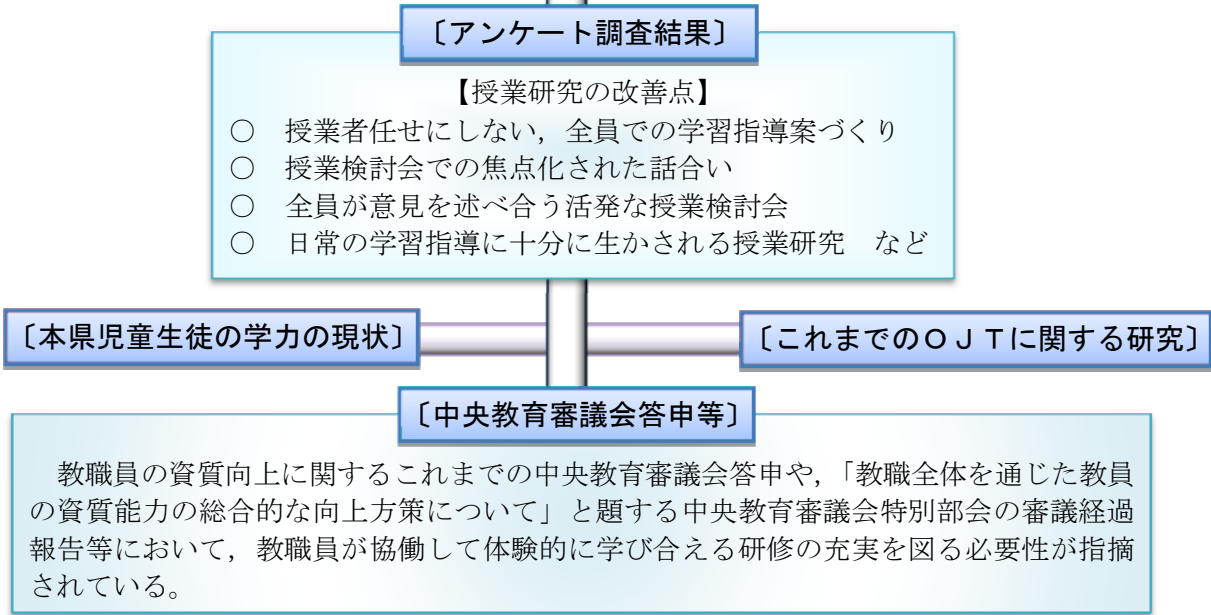
全教職員で授業研究（日々の授業や研究授業に関する一連の取組等を含む）に取り組み、学び合う中で、それぞれが授業力を高めるとともに、校内のチームワーク（同僚性）の向上を図る。



- 取組の柱
- 研究の視点や課題等を焦点化し、全員で共有していく研修の工夫
 - 全員が参加し、チームで取り組むワークショップ型の研修の工夫
 - 成果や課題を積み重ね、効率的で、かつ効果を実感できる研修の工夫



参加者全員が学び合う喜びを実感できる授業研究にするために！

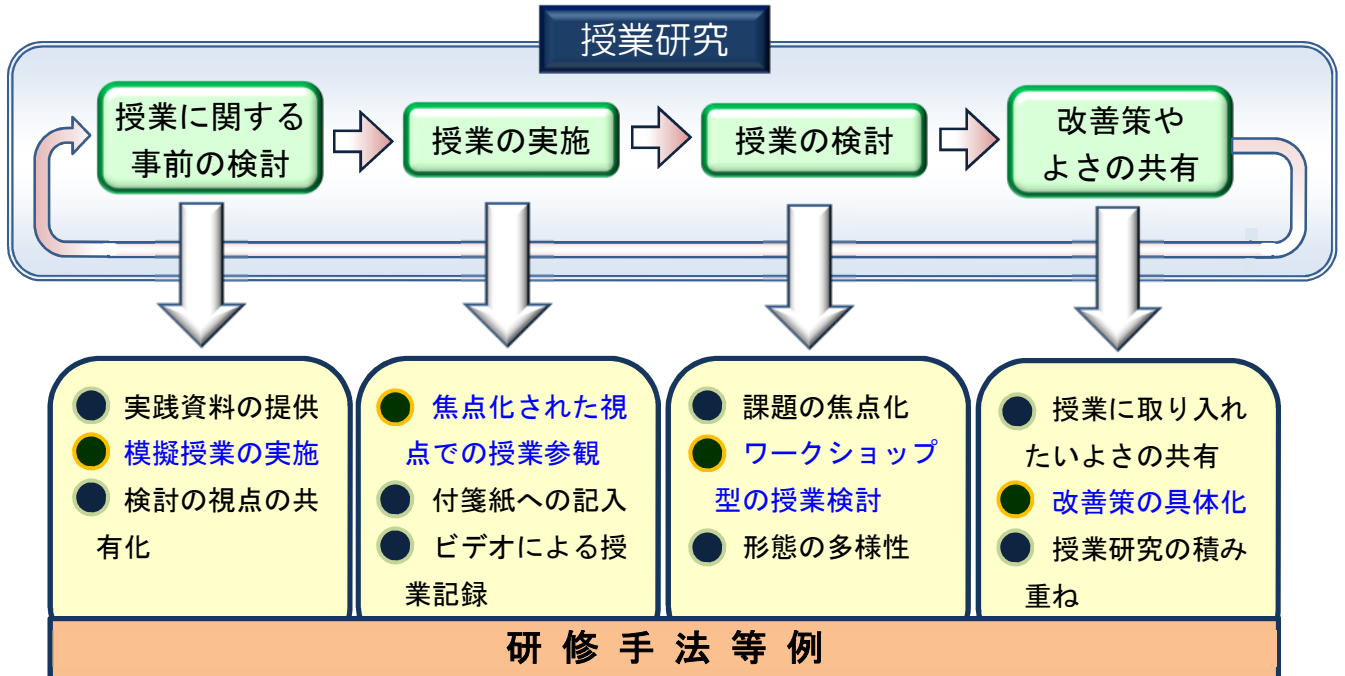


研究成果については、パンフレットや模擬授業、ワークショップ型授業検討会の様子を収めたDVDを作成し、今後、県内各学校へ配布したり、Webサイトに掲載したりして活用していただく予定です。

1

「みんなで取り組み、学び合う授業研究」にするための研修手法等例

※ 本研究では、授業研究を「授業に関する課題を組織的に解決するための、授業づくりから授業検討及び改善策を授業実践に生かすまでの一連の過程」ととらえます。



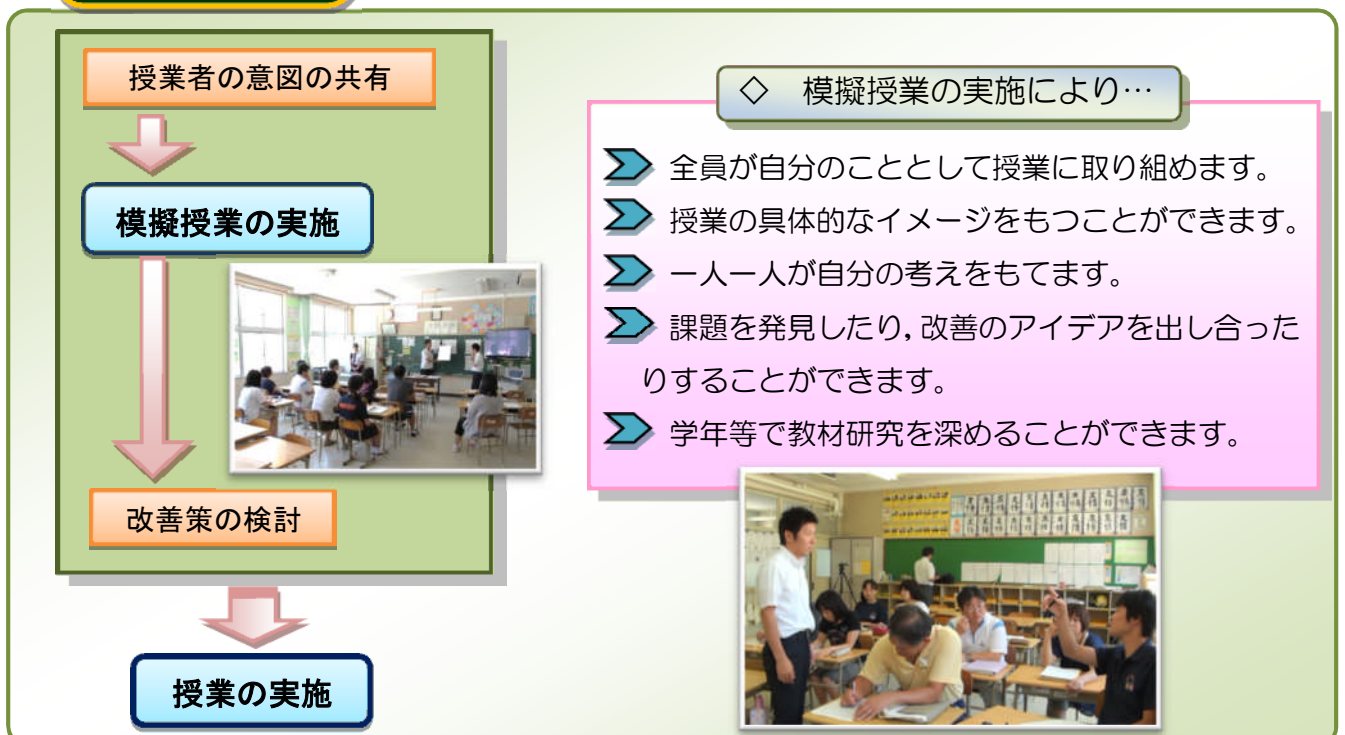
(●の研修手法例については、次項に掲載)

2

研修手法の具体化(例)

模擬授業の実施

～「授業者だけの授業」という意識から、「みんなの授業」という意識へ～



【授業改善ミニカード（例）】

授業改善（ミニ）カード 年 月 日
氏名()

【授業や授業検討会を通して学んだこと】

↓

【具体的な実践事項】

授業や授業検討会を通して学んだことや気付いたことなどを記入します。

全体での今後の共通実践事項や、自分の改善策を具体的に記入します。

「いつ、何を、どのように実践する」のように、具体的な改善策であるほど、授業改善の状況や児童生徒の変容等を確実に把握できます。

3

ワークショップ型の授業検討会の実際例（45分の場合）

進め方の説明

(3分)

● **ねらい、流れ、時間設定等の進め方を説明します。**

- 効率的な話し合いになるよう、あらかじめ検討の視点を絞り込んでおき、その視点に沿って検討していくことを確認します。
- 進行を円滑にするために事前に進行表を配布し、検討会の進め方について共通理解を図っておきます。

授業意図等の説明

(2分)

● **授業者が授業の意図等を説明します。**

- 授業者の思いや意見をもらいたい点等について説明します。
- 説明を聞きながら、気付いたことを付箋紙にメモしていきます。

グループ検討

(20分)

● **グループで授業を分析し、課題解決を図ります。**

- 1 書いた内容を簡潔に紹介しながら、一人ずつ、ワークシートに付箋紙を貼ります。
 - 2 よかった点、改善点等の内容別に付箋紙を仲間分けします。
 - 3 仲間分けしたものについて話し合います。
 - 4 課題についての具体的な改善策を話し合います。
- 一人一人の発言の機会を確保するために、グループの人数は4人程度が適切です。
 - 授業者は、適宜各グループの話し合いに参加し、質問等に答えるようにします。
 - 2では、仲間分けすることを焦る必要はありません。その話し合いをすること自体が大切なことです。
 - 3では、付箋紙の多いものに論点を絞ると、話し合いが活性化します。（少数意見を大切にすることにも留意します。）

グループ発表

(10分)

● **代表者がグループで話し合ったことや授業の改善策について発表します。**

- 成果や改善策について、重複する内容は割愛するなどして簡潔に発表します。

改善策等の共有化

(5分)

● **グループ発表で出された改善策について検討したり、今後の実践事項を策定したりなどします。**

- 検討会で取り上げることができなかった課題については、いつ、どのような方法で検討していくかなどを明確しておきます。

指導助言

(5分)

● **外部講師や管理職からの指導助言を受けます。**